



第二回ミニフォーラムの報告

第2回ミニフォーラムが、年末の忙しい時期にも関わらず多くの参加者を得て開催されました。今回は、融合教育について実践事例の紹介に留まることなく、総合的に理論化することを目指して取り組みたいとの考えから、会員の豊富な実践事例をもとに、実態が違っても取り組みが可能になるよう、より客観性と永続性のある方策を推進するための理論的な学習に視点をおいて行われました。特に「連携と融合の違い」について、筑波大学教授「山本恒夫」会員と、都合で出席できなくなった越田幸洋会員に代わって、秋津小学校長「宮崎稔」会長の提言をもとに活発な論議の中で進行しました。会議の内容を添付しましたので参照ください。

資料未着の方へ

途中入会の会員には、入会と同時にこれまでの会報や秋津小学校が受賞した読売教育賞論文を郵送しています。しかし、事務の煩雑さのため、会員になりながらまだ次の資料が届いてない方がいるかと思えます。必要な方は、郵送いたしますのでご連絡ください。

(入会時に郵送される資料)

- ・ 会報(1号~6号)
- ・ 会員名簿(今回、同封しました)
- ・ 本会設立時(1997・8・3)の資料...会則が載っています
- ・ 秋津小の読売教育賞受賞論文

融合研のホームページ

が間もなくできます。インターネットを行っている方は、開いてみてください。

アドレス

これは、習志野市秋津のホームページです。そこから、融合研をリンクしてください。

なお、会員が入会しています「シニアネット仙台」や第1回フォーラムで事例発表をいただいた早川南小学校区も、このアドレスで同様にリンクできます

人事異動

で、会長の勤務先が変わりました。

習志野市立秋津小学校長から、習志野市教育センター・視聴覚センター所長になりました。連絡先は、

〒275-0001 習志野市東習志野3-4-4

TEL 047-476-1715

FAX 047-471-0440です。

事務局は変更ありません。

〒285-0843 佐倉市中志津7-17-4

TEL/FAX 043-489-7809

会員のみなさまで、勤務先や連絡先が変わった方は、事務局までご連絡ください。

日本生涯教育学会の西日本大会が、5月15日(土)・16日(日)の両日に福岡県社会教育センターで開催されます。当日でも参加可能ということですので、都合のつく方は参加をお勧めします。岸裕司副会長が、分科会提案します。

仙台に決定

学校と地域の融合教育研究会

融合フォーラム '99

教育大改革、2002年をどう迎えるか――

昨年好評であった「融合フォーラム」を下記のような内容で行います。今回は、来るべき2002年の教育大改革に向けて、特に「社会教育と学校」という視点から、今からどのような準備をしていけばよいか、またどのように迎えたらいいかということについて、実践事例をもとに徹底討議します。今回は、仙台在住会員の尽力にて、初めて習志野を離れ、杜の都「仙台で」開催いたします。東北三大祭りの「仙台たなばた」を見ながら、21世紀への明るい夢を大いに語りあいましょう。

1. 日時 平成11年8月7日(土) 10:00~17:00

2. 場所 仙台市市民センター

3. 内容 10:00~10:15 開会行事
10:15~11:45 鼎談「高齢化社会と学社融合」(仮題)
・浅野史郎(宮城県知事)
・庄子平弥(仙台シニアネットクラブ)
・岸裕司(融合研副会長・秋津コミュニティ会長)

高齢化社会の到来に向けて、福祉日本一を目指す宮城県の「浅野知事」と、元気なお年寄り日本一を自他共に認める「庄子会員」とに、学校を核にした楽しく明るく、元気な融合社会の実現への熱い想いと実践例をを語っていただきます。聞き手は、お二人と面識のある「岸副会長」。乞う、ご期待。

11:45~12:00 分科会内容の紹介

午後の分科会の討議内容についてオリエンテーションを行います。

12:00~13:00 昼食

13:00~16:00 分科会

すべての分科会について、2002年から始まる 完全学校週5日制 新学習指導要領下での「総合的な学習」の時間への対応策をベースにしながら行います。

学校づくり・地域づくりと企業メセナ

提案者

の視点から発表していただきます。

公民館と学校教育との融合

提案者

の視点から発表していただきます。

社会教育施設と学校教育の連携
提案者

の視点から発表していただきます。

休日の体験活動と学校教育
提案者

の視点から発表していただきます。

社会体育と学校教育
提案者

の視点から発表していただきます。

16:15～17:00 ワークショップ・閉会行事
小グループになり、それぞれの活動紹介や各分科会内容の報告を行います。この機会に仲間をさらに増やしましょう。

17:30～19:00 懇親会（会費、 円）
いっそうの交流を深めましょう。できるだけ多くの参加をお待ちしております。

4 参加費 無料（資料代のみ、1,000円）

当日は、仙台市教育委員会のご協力で生涯学習講座を兼ねておこなわれます。そのため、会場費がかからないため参加費が無料になりました。仙台市教育委員会に感謝をいたします。

5 宿泊の斡旋

当日は七夕まつりの関係で、ホテルの予約がしにくいと考え、融合研で会場の近くを仮予約をして確保してあります。七夕を見ながらという方には連泊も可能です。また家族連れでの参加（部屋だけでも可）も大歓迎です。どうぞ、同封のパンフレットをご覧ください。5月31日までに下記のようにご連絡ください。この日が過ぎた場合は、ホテルに返却しますので、各自で御予約ください

（予約してある日は、8月6日（金）と7日（土）です。）

融合研フォーラムに参加します。
 参加できません。

ホテルを予約します。8月（ ）日～8月（ ）日
・大人（ ）人 こども（ ）人

氏名
住所
電話

岸副会長の活躍

各地で講演やパネリストとして、融合教育の普及に活躍をしている融合研副会長の「岸裕司さん」ですが、とくに、この度出版された本が社会的にも大反響を呼んでいます。書評のみならず、同封の新聞記事でも取り上げられ、市民・教育関係者はもとより、行政も「研修の教材として」と大量注文も。書店にはあまり出回っていません。冊数がまとまれば値段も安くなるようですので、同封の用紙でお申し込みください。また、本会会員で、日本生涯教育学会常任顧問の筑波大学教授「山本恒夫先生」からも、次のような推薦が届いています。

我が国は、生涯学習社会の実現を目指しており、従来の教育体系という基盤の上に融合的生涯学習支援の仕組みを作ることが必要になりつつあります。そのような中で、特に期待されているのが学社融合です。全国的に非常に関心が高まっていますが、いざ実践となるとどのようにしたらよいかかわからないことが多いようです。秋津でのこれまでの実践をまとめた本書は、融合的な活動を行う時のヒントになることがいっぱい詰まっています。広くお薦めしたい本です。